

資料 2 社会実験「かわべの開放 WEEK」を開催します

～官民連携まちなか再生推進事業～

近年、コロナ禍を契機に「屋外」の大切さが見直され、居心地がよく、歩きたくなる「ウォーカブル」なまちづくりが注目を集めています。

港町特有の風情を湛え、趣きのある生活景を残している内川周辺では、昔ながらのお店に加え、最近では新しいお店も増えてきており、そんなお店に川沿いの公共空間を開放することで、思わず川辺を歩いてみたくなるような、居心地の良い特別な時間や空間を提供する新しい挑戦、「かわべの開放 WEEK」を開催します。

1 開催日

令和 4 年 1 1 月 1 4 日（月）から 2 0 日（日）まで

※天候次第で中止になる場合もあります。詳細は、各企画のホームページや SNS をご覧ください。

2 開催場所

内川エリア周辺一帯

3 今回の社会実験の内容

民間事業者等（※）がそれぞれ、空いている場所を実験的に一時活用し、内川周辺エリアに居心地の良い場所をつくります。

※民間事業者等…内川沿いに出店した事業者／これから出店する事業者／内川エリアで活動したい市民団体等

4 実施主体

内川周辺エリアプラットフォーム（仮称）

※内川周辺エリアプラットフォーム（仮称）は、射水市、射水商工会議所、民間事業者から構成される、内川周辺でのまちづくりに取り組む活動組織です。

5 出店事業者

別添チラシ裏面参照

6 最寄りの駅

万葉線の新町口駅

7 最寄りの駐車場

クロスベイ新湊（4 時間無料）

8 その他

- ・チラシについては、広報いみず 11 月号に折り込みで配布しています。
- ・19 日、20 日に万葉線を使って「新町口駅」お降りの方には、お帰りの分の無料乗車券を配布します。



いろいろなお店が店舗を飛び出し、内川の橋や川沿いの道を開放した居心地の良い時間と空間を演出します。マルシェでの買い物や、かわべに置かれたベンチに腰掛け、思い思いのひとときを過ごしませんか。普段とはちょっぴり異なる内川の様子を感じてみてください。

(社会実験が開催されるまでの経緯)

日本のベニスとも呼ばれている内川周辺の風景を特別な空間として過ごしてもらえるにはどのような方策があるのかを、行政、地域住民、商工会議所で協議してきました。

「内川を誇れる環境として維持していること」「独特の生活文化が根付いていること」はかけがえのない地域資源であり、その背景を活かした地域活性化を実行するために、将来の内川周辺のエリアビジョンを描くことになりました。

そのビジョンを描く前に、官による車道や橋の一部広場化、民による空き店舗の活用、マルシェの開催、寺社仏閣でのコンサートなど、内川エリアでヒトとモノとコトが交差する社会実験「かわべの開放 WEEK」を実施することになりました。

新たな感動を生み出し、内川エリアの恒常的な体験価値へと育てていくのがこの社会実験の目的です。